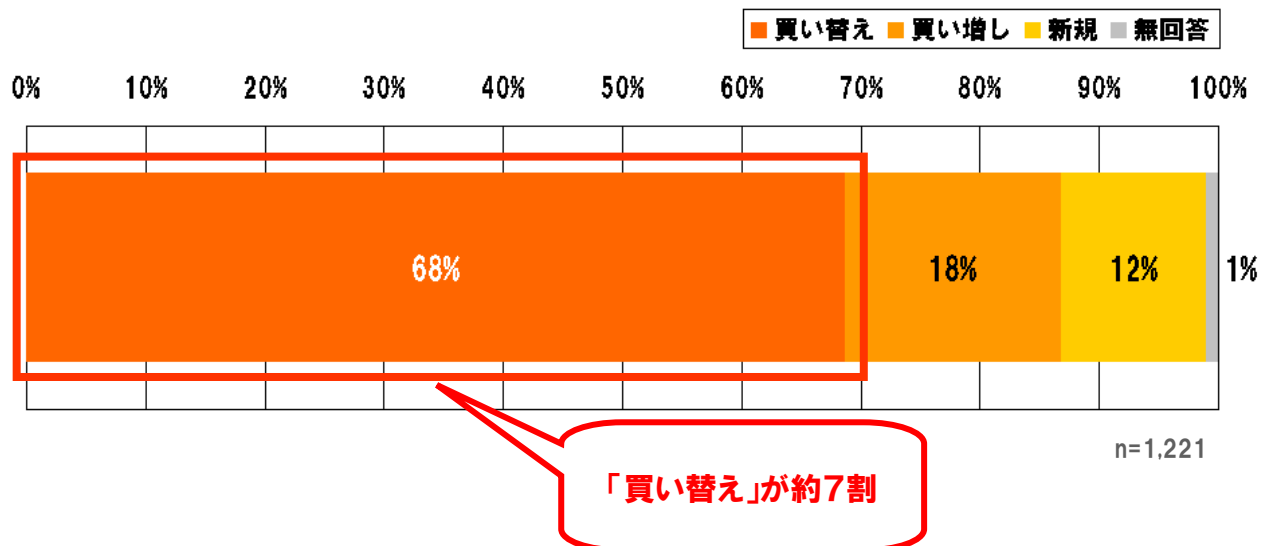


4 冬期のエアコン買い替えによる暖房不満足解消

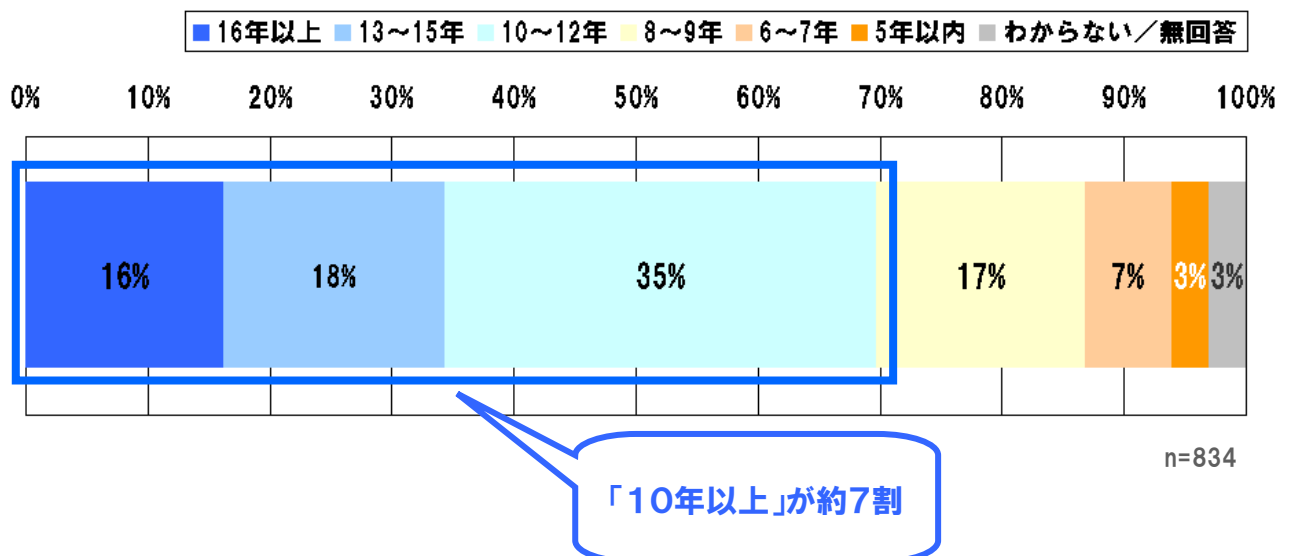
○購入形態は「買い替え」が約7割。

■エアコンの購入形態



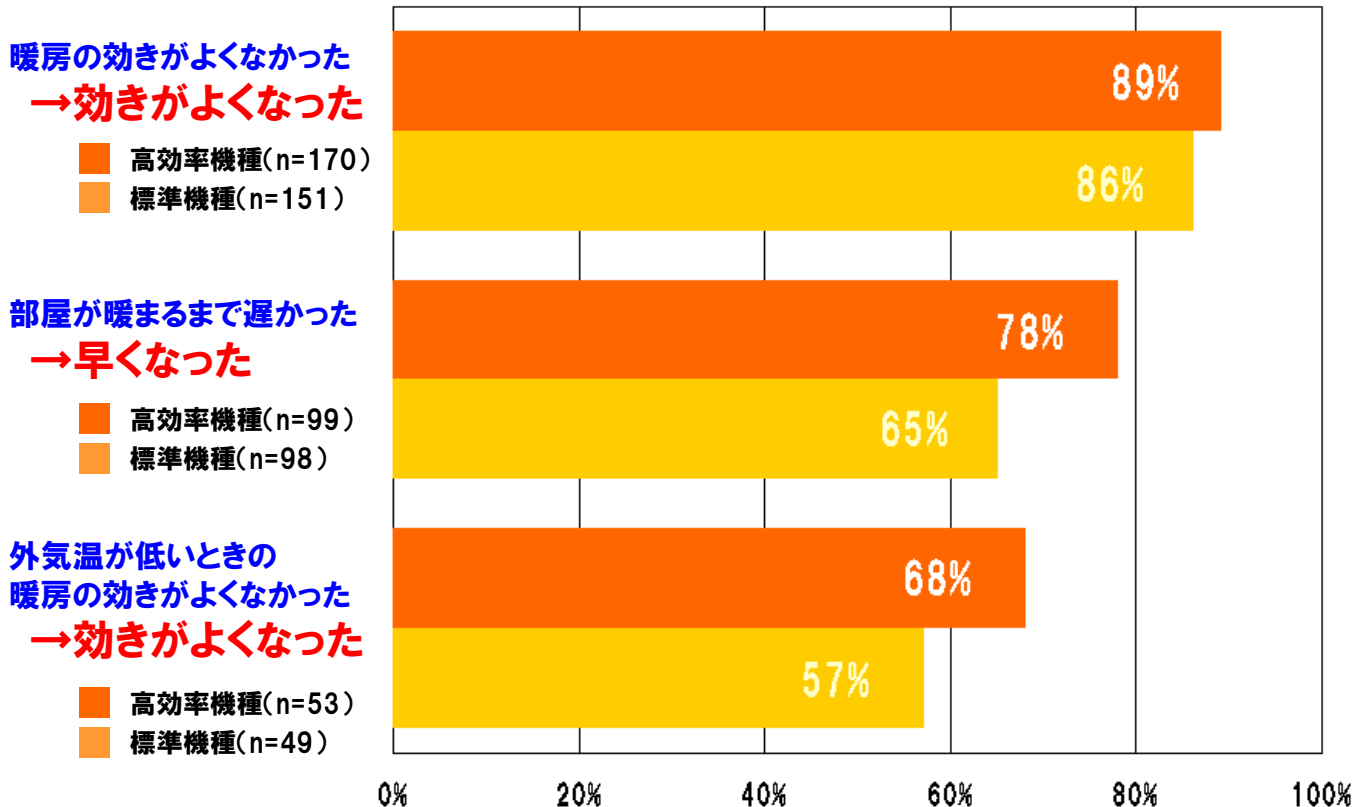
○買い替え前のエアコンの使用年数は、「10年以上」が約7割。

■買い替え時における1台前のエアコンの使用年数



○高効率機種・標準機種ともに、買い替えにより不満点が解消されている。特に高効率機種の満足度が高く、「暖房の効きがよくなった／暖かくなった」が約9割でトップ。次いで、「部屋が暖まるまでが早くなった」「外気温が低い時でも暖房の効きがよくなった」の解消率が高い。

■買い替えによる不満点の解消



☆高効率機種とは？

「APF(通年エネルギー消費効率)※」の値が大きい、省エネ性に優れた機種。メーカーのカタログでは、高効率機種を「ハイスペックモデル」「ハイグレードモデル」「プレミアムモデル」など、標準機種を「スタンダードモデル」「ベーシックモデル」などと記載されている。

※APF:一定条件のもとで一年間エアコンを運転したときに必要となる冷暖房能力を、その間で消費される電力量(期間消費電力量)で割った値。

【エアコンの高効率機種と標準機種の運転能力の違い】

暖房(11~14畳)

	能力		消費電力
高効率機種	5.0kW	(0.6~10.4)	915W (80~2,940)
標準機種	5.0kW	(0.8~7.2)	1,260W (140~2,190)

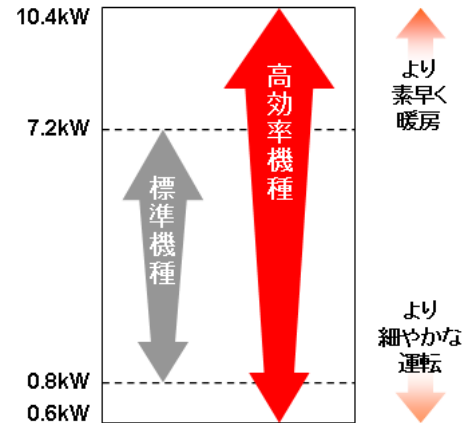
「運転能力」
を表す数値です

()内の数値は
エアコンの能力の
可変範囲です。

最小値が小さいほど、
きめ細やかな暖房を
行うことができます。

最大値が大きいのほど、
強力な暖房を行う
ことができます。

暖房能力比較



エアコンは、運転開始時には大きな能力で短時間のうちに設定温度まで暖房し、その後は小さな能力で安定した運転をすることで室温を一定に保つため、エアコンの暖房能力の幅(大きな能力~小さな能力)の広さが、暖房の効き具合を左右するひとつのポイントとなる。

<参考> 暖房能力幅の2002年モデルと2010年モデルの比較(A社の場合)

暖房能力幅の比較

	能力	
2010年モデル	3.2kW	(0.2~7.3)
2002年モデル	3.2kW	(0.4~5.8)

【参考カタログ】

A社エアコンカタログ(2002年、2010年)より、
暖房能力3.2kWの高効率機種を抜粋し比較。

